



書道部会

部会長：平山十方（正徑）

創 立：平成9年（1997年） 現在部員：10名

開催日：毎月第二日曜日午後1時～4時（生涯学習センター）

内 容：誰でも何時でも始められ上達実感出来、自分にしか書けない書を目指します。

初心者はお習字で中級者へ、中級者は書道で上級者へ、上級者は創作で芸術の世界へとレベルアップして行きます。

毎月半紙楷書お手本を全員に、基本を学ぶ、他に半紙行書を初心者に、半紙草書、隷書お手本を中、上級者に、他の字体を学ぶ、更に上級者には条幅（半切）漢字20文字、草行書肉筆お手本を配布。

部員は教室と自宅で半紙課題及び条幅課題を書き込み提出する。

作品はその都度添削し改善を促します。何れも多書、多見、多聞が上達のカギになる。

行 事：2年毎に作品展を開催、他に書聖展、謙慎書道会展、日本の書展、読売書法展などの見学も行っている。



書道部会

部会長：武藤 豊（雅号：豊翠＝ほうすい）

創 立：平成9年（1997年） 現在部員：13名

練習日：毎月第二日曜日午後1時～4時（生涯学習センター）

内 容：1. 書の基本基礎の修得（漢字は4字熟語、仮名は芭蕉の俳句等）
教材の手本で忠実に練習、添削を経て書道作品に仕上げる。

2. 各自好きな和歌、漢詩、論語、詩文、調和体書等の自由書道。

各自の書を披瀝し互いに批評、反省の繰り返し後、書作品に。

行 事：二年に一度の総合書道展（成美教育会館）、半年期にミニ作品展

論語に“以文会友”「文を以て友を会す」則ち学問を通じて仲間を集める。という格調高い4字熟語、があります。当書道部会も“以書会友”「書を以て友を会す」と格調高く書に通じたいところですが、当部会は書を趣味として書を愉しむ仲間の集いであり和敬寛楽にして親睦を深める心の遊びの場です。

書に馴染むには則ち1，多書（ひたすら書く）2，多看（外部の書を多く見る）3，多聞（外部の書評を聴く）の3多です。このことを肝に銘じて部員一同頑張っています。

“書の輝きは星の如く”（宮沢賢治・銀河鉄道の夜）と、ありたいと、願っていますが“書を校するは塵を掃うが如し”の格言通り塵を掃つても掃つても尽くせないように書は書いても書いても満足する書は書けません。が、しかし当書道部員は常に真摯な態度で書に臨み何時かは人に感動を与える美しい書道作品を期待しながら自己研鑽に務めていく所存です。



書道部会

部会長：武藤 豊

部員数：15名

練習日：毎月第二日曜日午後1時～5時（生涯学習センター）

設立：平成9年11月



書道部会が発足して18年、その間、伊豆箱根、軽井沢、伊香保等にて練成会を実施して自己研鑽に努め、2年に一回のペースで作品展を開催しながら本年度で第8回作品展（11月21～23日：成美教育文化会館）を迎えることになりました。また市民展への出品、更には国際書画交流会展（東京都美術館）にも出品する等部員一同精一杯頑張っています。

「書を校するは塵を掃うが如し」の格言の通り塵を掃っても掃っても尽くせないように書は書いても書いても満足する書は書けません。が、我が稲門会書道部は”和敬寛楽”書を趣味に持つ仲間が書に真摯な態度で臨み何時かは人に感動を与える美しい書作品を夢見ながら自己研鑽に努めています。

何事にも基本が一番大切だと思います。即ち“守 破 離”の精神です、守（しゅ）は、教えを守りひたすらを基本を身につける（書道の楷書に該当）、破（は）は今までの教えを基礎として躍進する（書道の行書に該当）、離（り）は些かも基本にはずれることなく自己の道を発揮する（書道の草書に該当）、書道部会ではこの守破離の精神をモットーに頑張っていきたいと思っています。